

令和3年度 決算について

1 決算概要

令和3年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症患者等の受入病床を確保したことで、一般病棟の稼働病床は減少しました。しかしながら、限られた病床を効率的に運用したことや外来の化学療法が増加などにより、入院・外来業務の診療単価の過去最高を更新することができました。

収益面については、入院・外来業務ともに、診療単価の上昇により、入院収益は131億82百万円、前年度比10億67百万円の増、外来収益は、54億54百万円、前年度比2億58百万円の増となりました。

また、新型コロナウイルス感染症対策事業に係る補助金収益として、24億23百万円を計上しています。

費用面については、給与費は、職員数の増加により、93億59百万円、前年度比2億83百万円の増となったほか、材料費は、薬品及び診療材料の使用増に伴い、64億84百万円、前年度比6億67百万円の増となりました。

また、総合医療情報システムの更新により、委託料は17億30百万円、前年度比1億5百万円の増となりました。減価償却費は、総合医療情報システム及びネットワーク機器のほか、新型コロナウイルス感染症対策をはじめとする医療器械等の更新を行った結果、償却対象となる資産数が増加したことにより、13億44百万円、前年度比2億13百万円の増となりました。

これらの結果、令和3年度の総収益は234億86百万円、総費用は222億90百万円、当期純利益11億96百万円の黒字決算となりましたが、前述の新型コロナウイルス感染症対策事業に係る補助金収益を除いた場合は、約12億円の赤字決算になります。

当院は、新型コロナウイルス感染症の影響が本格化して以降、県内唯一の第一種感染症指定医療機関として、県内医療機関の先頭に立ち、新型コロナウイルス感染症患者を積極的に受け入れてきました。令和3年度は、より感染力の強い変異株の出現やデルタ株、オミクロン株の発生から、新規陽性者数が増加傾向にあるなど、そのような中においても、入院患者323人を受け入れて治療にあたってまいりました。

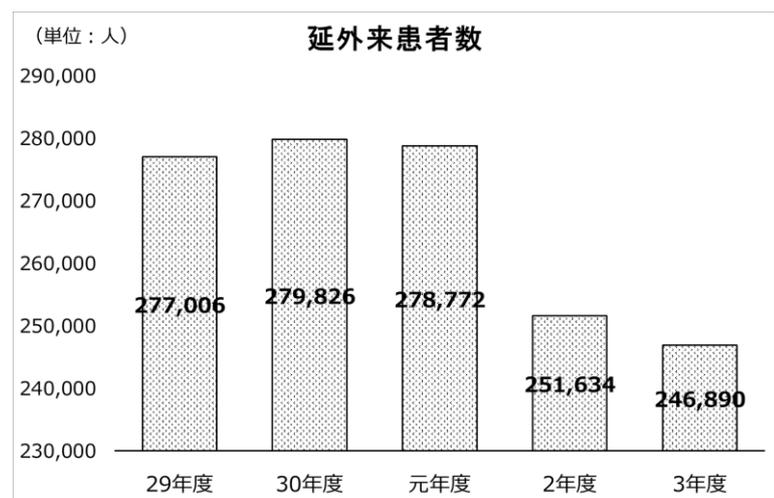
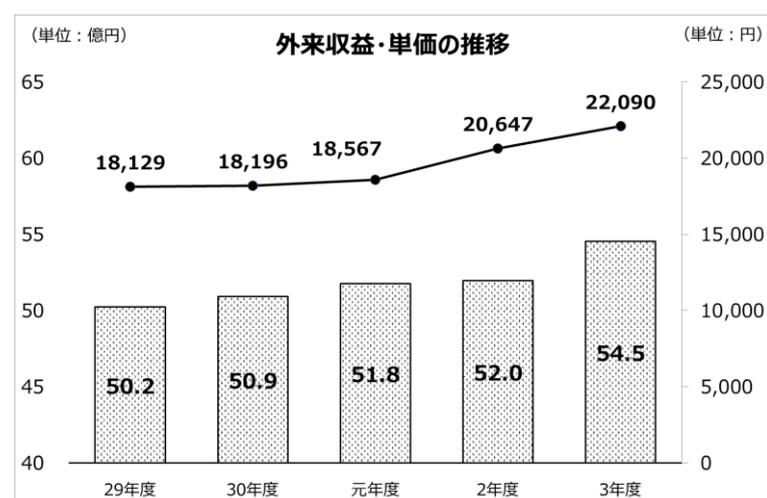
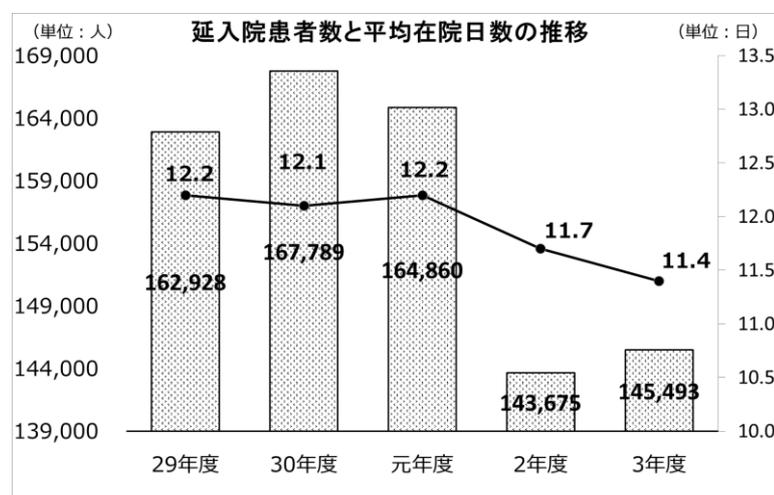
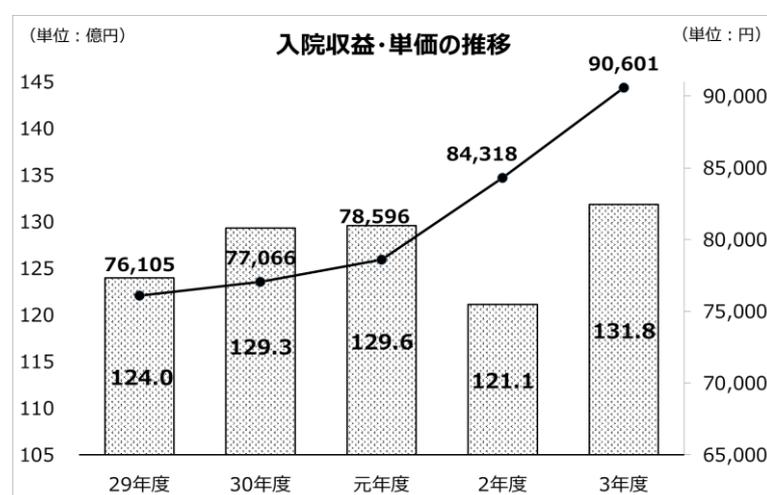
引き続き、感染症指定医療機関としての役割を果たすとともに、急性期・高度急性期医療を担う地域の基幹病院として、市民の皆さんが必要とする医療を提供し続けてまいります。

2 主な診療実績

入院関連	令和3年度実績	令和2年度実績	増減
診療単価	90,601円	84,318円	6,283円
延患者数	145,493人	143,675人	1,818人
1日平均患者数	399人	394人	5人
新患者数	11,787人	11,279人	508人
病床稼働率	78.8%	77.8%	1.0P
平均在院日数	11.4日	11.7日	△ 0.3日

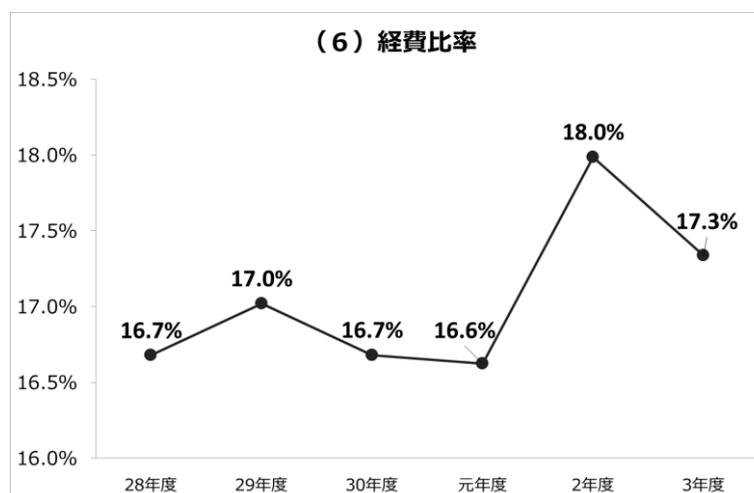
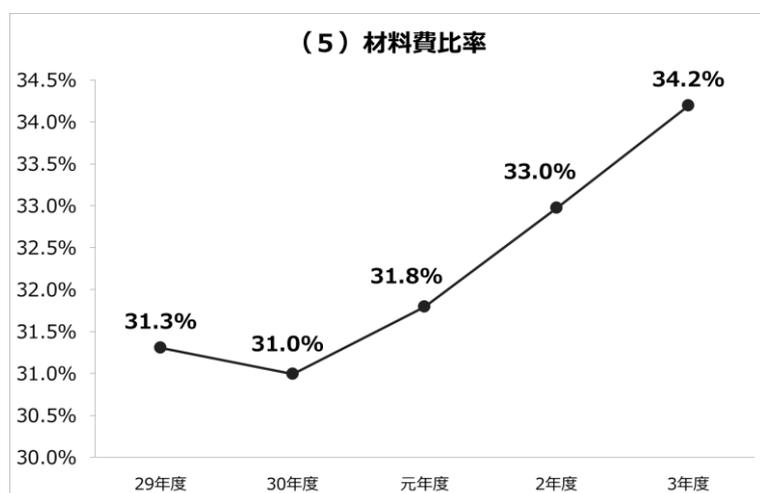
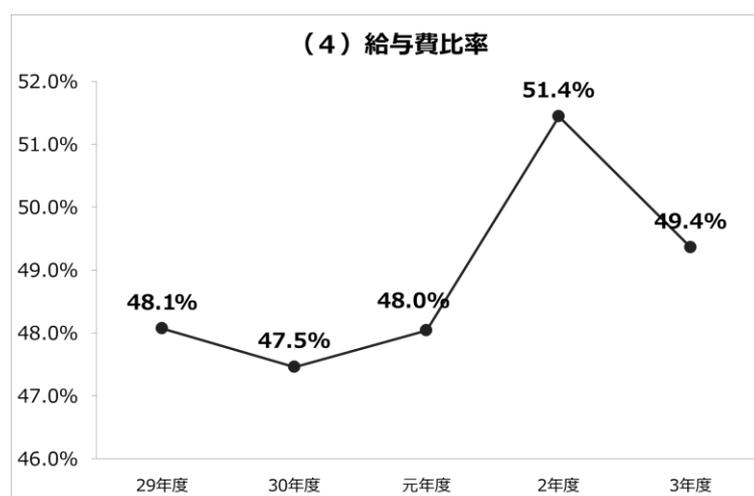
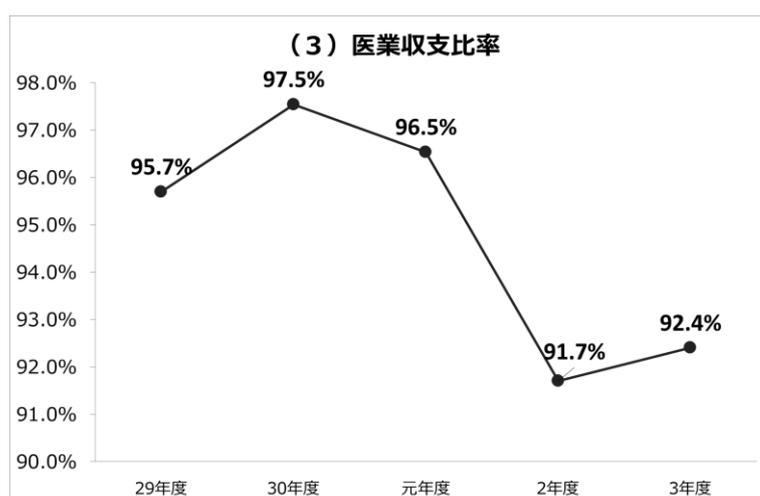
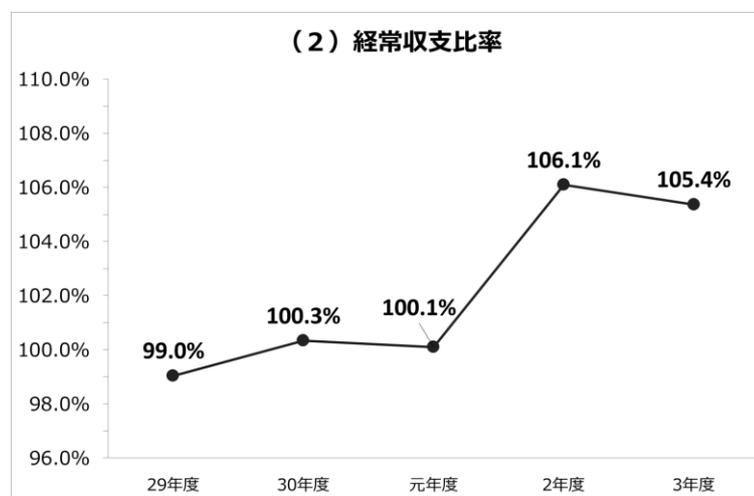
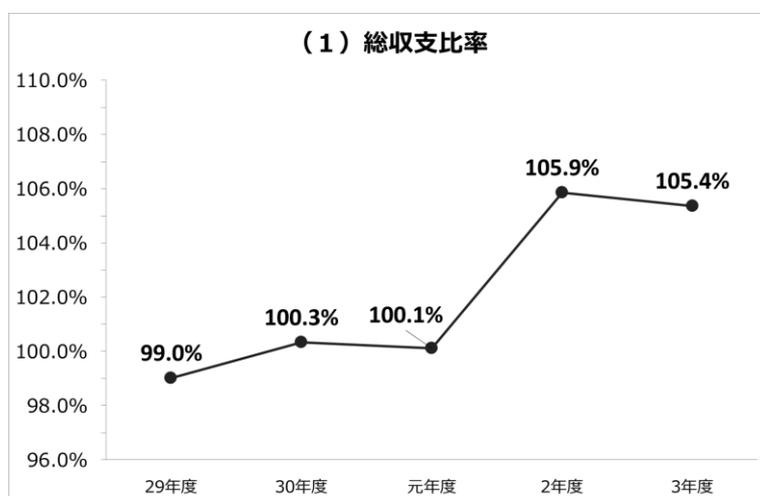
外来関連	令和3年度実績	令和2年度実績	増減
診療単価	22,090円	20,647円	1,443円
延患者数	246,890人	251,634人	△ 4,744人
1日平均患者数	1,020人	1,036人	△ 16人
新患者数	20,566人	19,841人	725人

稼働状況等	令和3年度実績	令和2年度実績	増減
手術件数	5,281件	4,975件	306件
紹介率	86.6%	86.4%	0.2P
逆紹介率	140.0%	144.0%	△ 4.0P



3 経営指標

区分	令和3年度実績	令和2年度実績	増減
(1) 総収支比率	105.4%	105.9%	△ 0.5P
(2) 経常収支比率	105.4%	106.1%	△ 0.7P
(3) 医業収支比率	92.4%	91.7%	0.7P
(4) 給与費比率	49.4%	51.4%	△ 2.0P
(5) 材料費比率	34.2%	33.0%	1.2P
(6) 経費比率	17.3%	18.0%	△ 0.7P



【経営指標の計算式】

- (1) 総収支比率……総収益/総費用
- (2) 経常収支比率……(営業収益+営業外収益)/(営業費用+営業外費用)
- (3) 医業収支比率……医業収益/医業費用
- (4) 給与費比率……給与費(医業費用)/医業収益
- (5) 材料費比率……材料費(医業費用)/医業収益
- (6) 経費比率……経費(医業費用)/医業収益

4 財務諸表

(1) 損益計算書

一会計期間（4月1日から翌年3月31日までの1年間）に属するすべての収益と費用を記載した法人の経営成績を明らかにしたものです。

（単位：百万円）

項目	令和3年度 ①	令和2年度 ②	増減額 ①-②	主な増減理由
総収益	23,486	22,084	1,344	
営業収益	23,329	21,805	1,523	
医業収益	18,962	17,642	1,320	
入院収益	13,182	12,114	1,067	延患者数:+1,818人(3年度:145,493人、2年度:143,675人) 単価:+6,283円(3年度:90,601円、2年度:84,318円)
外来収益	5,454	5,195	258	延患者数:△4,744人(3年度:246,890人、2年度:251,634人) 単価:+1,443円(3年度:22,090円、2年度:20,647円)
その他医業収益	376	368	8	※検診料、予防接種、人間ドッグ
保険等査定減	△ 50	△ 36	△ 14	
運営費負担金収益	1,792	1,790	2	中期計画どおり
補助金等収益	2,494	2,315	179	新型コロナウイルス感染症関連補助金 2,423百万円
寄附金収益	12	6	6	
資産見返戻入	69	53	16	※負担金等財源取得資産の減価償却費見合い分収益計上
営業外収益	99	278	△ 179	
運営費負担金収益		60	△ 60	中期計画どおり
財務収益	1	1	0	
その他営業外収益	99	217	△ 118	※R2: 保険金収入(示談金分)
臨時利益	0	0	0	
その他臨時利益	0	0	0	
総費用	22,290	20,862	1,429	
営業費用	20,946	19,660	1,286	
医業費用	20,524	19,238	1,286	
給与費	9,359	9,076	283	正職員(再任用含む)の増員および定期昇給による給料・手当等の増加 病院全体+22人(3年度末:938人、2年度末:916人) (内訳) 医師:+5人(3年度末:163人、2年度末:158人) 看護師+16人(3年度末:534人、2年度末:518人) 薬剤師+1人(3年度末:37人、2年度末:36人) コメディカル△2人(3年度末:135人、2年度末:137人) 事務+7人(3年度末:32人、2年度末:25人)
材料費	6,484	5,817	667	診療材料費+277百万円(3年度:3,182百万円、2年度:2,905百万円) 薬品費+384百万円(3年度:3,255百万円、2年度:2,871百万円)
減価償却費	1,344	1,131	213	償却対象件数の増加
経費	3,287	3,173	114	報償費△10百万、消耗品費△4百万、消耗備品費△2百万、光熱水費+34百万円、印刷製本費+4百万、修繕費+10百万円、手数料+6百万、賃借料△29百万円、委託料+105百万円 他
研究研修費	49	41	8	※学会、研修旅費
一般管理費	421	421	0	
給与費	395	393	1	事務△5人(3年度末:37人、2年度末:42人)
減価償却費	3	3	0	
経費	24	25	△ 1	
営業外費用	1,344	1,156	187	
財務費用	143	119	24	※支払利息(移行前地方債・長期借入金)、リース利息
消費税	1,200	921	278	リース資産分消費税初年度一括償却による増加
雑損失	1	116	△ 116	※R2: 示談金
臨時損失	1	46	△ 45	
固定資産除却損	1	2	△ 2	
その他臨時損失	0	43	△ 43	※R2: 前期賞与引当金未計上分
当期純利益	1,196	1,222	△ 84	

(注) 表中の数値は各項目ごと百万円未満を四捨五入しているため、合計及び増減額が一致しない場合があります。

(2) 貸借対照表

決算日（3月31日時点）におけるすべての資産（資金の運用形態）、負債及び純資産（資金の調達方法）を記載した法人の財政状況を明らかにしたものです。

（単位：百万円）

項目	令和3年度末 ①	令和2年度末 ②	増減額 ①-②	主な増減理由
資産の部	22,895	19,790	3,105	
固定資産	12,020	10,717	1,303	
土地	3,001	3,001	0	
建物	5,046	5,376	△ 330	東館・西館等減価償却による減少
構築物	6	7	△ 1	
器械備品	1,829	1,933	△ 103	減価償却による減少
車両	19	0	19	高規格救急自動車取得による増加
リース資産	1,745	2	1,743	電子カルテ・ネットワーク機器取得による増加
建設仮勘定	15	10	6	手術室設計業務委託による増加
無形固定資産	25	5	21	ソフトウェア取得による増加
長期貸付金	333	383	△ 50	看護師修学資金の減少
破産更生債権等	67	67	0	
貸倒引当金(破産更生債権等)	△ 67	△ 67	0	
その他投資	1	1	0	
流動資産	10,875	9,072	1,802	
現金及び預金	6,825	4,633	2,191	※キャッシュ・フロー計算書参照
未収金	3,737	4,170		補助金分の減少
貸倒引当金	△ 32	△ 32	0	
医薬品	193	150	43	在庫確保による増加
診療材料	137	134	3	
前払金	14	15	△ 1	
その他流動資産	2	2	0	※火災保険前払分、預金利息未収分
負債の部	15,216	13,306	1,909	
固定負債	12,044	10,613	1,430	
資産見返負債	361	354	7	負担金等財源取得資産購入分の増加
長期借入金	600	600	0	
移行前地方債償還債務	4,737	5,012	△ 275	既往債の償還が進んだことによる減少
引当金	4,740	4,647	93	退職給付引当金の増加
リース債務	1,580	0	1,580	電子カルテ・ネットワーク機器取得による増加
その他固定負債	25	0	25	預り保証金(工事関連)の増加
流動負債	3,172	2,693	479	
一年以内返済予定長期借入金	300	300	0	
一年以内返済予定移行前地方債償還債務	275	269	6	
未払金	1,538	1,411	128	退職金及びネットワーク機器支払分の増加
未払費用	90	92	△ 3	
引当金	482	492	△ 9	
一年以内支払予定リース債務	362	1	360	電子カルテ・ネットワーク機器取得による増加
その他流動負債	125	128	△ 3	※預り諸税、預り納付金
純資産の部	7,679	6,484	1,196	
資本金	4,919	4,919	0	※静岡市出資金
資本剰余金	0	0	0	
利益剰余金	2,760	1,564	1,196	
前期中期目標期間繰越積立金	320	320	0	第1期中期目標期間からの繰越
目的積立金	1,245	23	1,222	R2当期純利益振替による増加
当期未処分利益	1,196	1,222	△ 26	
うち当期純利益	1,196	1,222	△ 26	

(注) 表中の数値は各項目ごと百万円未満を四捨五入しているため、合計及び増減額が一致しない場合があります。

(3) キャッシュ・フロー計算書

一会計期間（4月1日から翌年3月31日までの1年間）における業務活動、投資活動及び財務活動の3つの区分に分けて資金の流れを明らかにしたもので、現金と普通預金の動きを示しています。

（単位：百万円）

項目	令和3年度 ①	令和2年度 ②	増減額 ①-②	主な増減理由
業務活動によるキャッシュ・フロー	3,239	1,873	1,366	
材料の購入による支出	△ 7,198	△ 6,245	△ 953	薬品・診療材料支払額の増加による
人件費支出	△ 9,732	△ 9,333	△ 399	賞与等支払額の増加による
その他の業務活動による支出	△ 3,407	△ 3,602	195	経費等支払額の増加による
医業収入	18,867	17,654	1,213	入院・外来収益の増加による
運営費負担金収入	1,850	1,850	0	中期計画どおり
補助金等収入	2,881	1,435	1,446	新型コロナウイルス感染症関連補助金の増加による
寄附金収入	12	7	5	
その他の業務活動による収入	105	227	△ 121	R2:保険金支払額の減少による
利息及び配当金の受取額	1	1	0	
利息の支払額	△ 140	△ 119	△ 21	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,025	△ 942	△ 82	
定期預金の戻入による収入	1,500	1,500	0	
定期預金の預入による支出	△ 2,000	△ 1,500	△ 500	定期預金預入額の増加による
有形固定資産の取得による支出	△ 706	△ 979	272	固定資産購入額の減少による
無形固定資産の取得による支出	△ 30	△ 3	△ 28	ソフトウェアの増加による
貸付金の回収による収入	37		37	看護師修学資金返済分
貸付けによる支出	△ 67	△ 70	3	看護師修学資金貸付分
補助金等収入	241	56	185	新型コロナウイルス感染症関連補助金の増加による
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 523	△ 411	△ 113	
長期借入れによる収入	300	300	0	
長期借入金の返済による支出	△ 300	△ 240	△ 60	平成28年度～令和2年度借入分の返済額増加による
移行前地方債償還債務の償還による支出	△ 269	△ 366	97	既往債償還額の減少による
リース債務の返済による支出	△ 254	△ 104	△ 150	電子カルテ及びネットワーク分支出額の増加による
資金増加額	1,691	520	1,171	
資金期首残高	3,133	2,613	520	
資金期末残高	4,825	3,133	1,691	

（注1）期首及び期末時点で運用中の定期預金は、資金に含んでおりません。

（注2）表中の数値は各項目ごと百万円未満を四捨五入しているため、合計及び増減額が一致しない場合があります。

定期預金含む資金残高

（単位：百万円）

区分	令和3年度 ①	令和2年度 ②	増減額 ①-②
資金期末残高	4,825	3,133	1,691
定期預金	2,000	1,500	500
合計額	6,825	4,633	2,191

（注）合計額は貸借対照表「資産の部」の「現金及び預金」の金額と一致します。

5 長期借入金及び移行前地方債償還債務の状況

長期借入金（市からの借入金）及び移行前地方債償還債務（地方独立行政法人移行前に借り入れた地方債の償還債務）の状況は次のとおりです。

（単位：千円）

区分	期首残高 (R3.4.1)	増減額			期末残高 (R4.3.31)	備考
		新規借入額 (A)	償還額 (B)	計 (A)-(B)		
長期借入金	900,000	300,000	300,000	0	900,000	医療機器整備
移行前地方債償還債務	5,281,383	0	269,257	△ 269,257	5,012,126	建設改良資金
計	6,181,383	300,000	569,257	△ 269,257	5,912,126	

6 新型コロナウイルス感染症関連補助金

2,482,671千円

○ 医療器械を購入したもの（「資産見返負債」及び「資産見返戻入」に計上）

(単位:円)

交付元	補助事業名	補助対象 (※主たる設備等を記載)	当期交付額
国	新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金	一般X線撮影間接変換FPD装置、ネーザルハイフローシステム	9,922,000
	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金	ネーザルハイフローシステム	1,940,400
県	新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関設備整備事業補助金	簡易陰圧装置、人工心肺システム	18,150,000
	新型コロナウイルス感染症重点医療機関等設備整備事業補助金	超音波画像診断装置、血液浄化装置、気管支鏡	27,494,000
	新型コロナウイルス感染症を疑う患者受入れのための救急・周産期・小児医療体制確保事業補助金	搬送用保育器	1,500,000
計			59,006,400

○ 病院運営に係るもの（「営業収益」に計上）

(単位:円)

交付元	補助事業名	補助対象	当期交付額
国	新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金	新型コロナウイルス感染症患者等の対応を行う看護師、臨床検査技師等の基本給	35,078,000
	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金	新型コロナウイルス感染症に対応した感染防止対策に要する施設内の清掃業務委託費	9,609,600
県	新型コロナウイルス感染症対応医療従事者宿泊施設確保事業費補助金	新型コロナウイルス感染症対応の医療従事者が帰宅することが困難な場合などに利用する宿泊施設の借上げ費用	285,000
	新型コロナウイルス感染症重点医療機関体制整備事業補助金	病床確保に要する費用	2,315,226,000
	新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関設備整備事業補助金	新型コロナウイルス感染症入院患者等に対応する医師、看護師等が装着する个人防护具などの消耗品費等	1,292,000
	新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金(新型コロナウイルス感染症クラスター発生病院支援事業補助金)	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に対する対策及び感染管理等を実施するための費用	50,000,000
	新型コロナウイルス感染症患者病床回転率向上促進事業補助金	新型コロナウイルス感染症に係る病床回転率向上促進に対する費用	7,350,000
	静岡県新型コロナウイルスワクチン個別接種促進支援金	新型コロナウイルスワクチンの個別接種協力に対する支援金	4,719,120
市	私立こども園・保育所等新型コロナウイルス感染症対策事業補助金	院内保育所の感染症拡大防止のために購入したマスクや消毒液などの消耗品費等	104,000
計			2,423,663,720